



盛岡市プレスリリース

～ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡～

令和6年9月12日
商工労働部
ものづくり推進課
立地創業支援室

市政記者クラブ加盟社 各位

盛岡市産学共同研究等支援事業補助金採択事業に係る 展覧会の開催について

令和5年度盛岡市産学共同研究等支援事業補助金の採択事業である有限会社アカシヤと岩手大学人文社会科学部 久保田陽子准教授が実施する共同研究について、その成果の一部を発表する展覧会を開催しますので、是非ご取材ください。

記

- 【展覧会名】賢治とW・モリス×書と額装ー岩手の文学と英国インテリアデザインの融合ー
- 【日時】令和6年9月17日（火）～22日（日）日 10時から18時（最終日16時まで）
- 【場所】盛久ギャラリー（盛岡市中央通一丁目1-35）
- 【主催】岩手大学書道研究室／有限会社アカシヤ
- 【入場料】無料
- 【添付資料】展覧会チラシ、展覧会広報用資料
- 【共同研究テーマ】書を用いた岩手の文学と英国デザインの融合方策に関する研究

【問い合わせ】

ものづくり推進課 立地創業支援室
担当：鷹觜（たかのはし）
電話：019-621-6682（岩手大学直通）

岩手大学書道研究室 + (有)アカシヤ共同研究成果発表

賢治とW・モリス



書と額装

岩手の文学と英国インテリアデザインの融合

9月17日(火)ー22日(日)
10時ー18時 最終日16時まで 盛久ギャラリー

盛久
MORIKYU-GALLERY

岩手県盛岡市中央通1-1-35
tel 090-2658-9382
<https://morikyu.net/>

主催: 岩手大学書道研究室 / (有)アカシヤ



関係各位

ウィリアム

「賢治と W・モリス×書と額装

岩手の文学と英国インテリアデザインの融合」展のご案内

岩手大学書道研究室と(有)アカシヤ(盛岡市肴町)は、産学共同研究として令和 5 年度から「書を用いた岩手の文学と英国のデザインの融合方策に関する研究」を行ってまいりました。研究は、宮沢賢治の作品を書で表現し、W・モリスのファブリックを装飾した額と融合する手法により、これまでにない新たなインテリアオブジェを制作する試みを主としております。

この度、これまでの産学共同研究成果の一部を以下のとおり展覧会として発表し、広く市民の皆様をはじめ関係各位にご高覧いただきたいと考えております。つきましては、取材していただき、広く周知していただければ幸いです。

1 展覧会の概要

日 時 令和 6 年 9 月17日(火)～22日(日) 10:00～18:00(最終日16:00まで)
場 所 盛久ギャラリー(盛岡市中央通1-1-35) 090-2658-9382

2 産学共同研究のテーマと目的

「書を用いた岩手の文学と英国のデザインの融合方策に関する研究」

- (1) 文化的にも優れた岩手のイメージを発信
- (2) 岩手の書道文化振興に携わる若者の育成
- (3) 岩手の産業振興 ……の、それぞれに資する方法論を構築する。

【本共同研究は、令和5年度盛岡市産学共同研究等支援事業補助金の採択事業です。】

3 新たなインテリアオブジェの特徴と製作手法

今回のインテリアオブジェは、以下のような特徴を有しています。

- 現代のインテリアにも馴染みやすい。
- 宮沢賢治の多様な作品を広く紹介。
- インテリアオブジェの書は、岩手大学で書を学ぶ学生が主に制作。
- 岩手県盛岡市にて企画・制作・完成・発信(海外への発信も視野)。

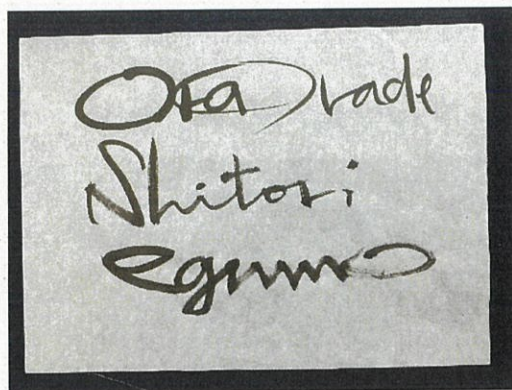
①W・モリスのファブリックによる 額装

(有)アカシヤ担当・・・W・モリスのファブリックを装飾して額を制作。

②宮沢賢治の詩文 + 書の学修成果 = 書作品

岩手大学書道研究室担当・・・宮沢賢治の作品を題材として書作品を制作。

- ① の一例 W・モリスのデザイン「レスター」 ② の一例 「Ora Orade Shitori egumo」

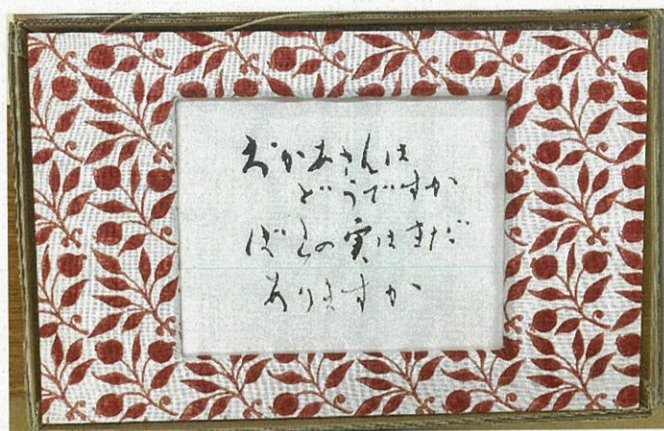


③上記 ① + ② = 岩手の文学を発信する<新しいインテリアオブジェ>の完成

岩手大学書道研究室&(有)アカシヤ担当・・・

宮沢賢治の詩文とW・モリスのデザインを、「自然」「共生意識」をキーワードに取り合わせる。

- ③の一例 『よく利く薬とえらい薬』の一節(ばらの実)×「Rose hip」というデザイン



4 宮沢賢治と W・モリスについて

- 宮沢賢治は、W・モリスの環境芸術の思想に影響を受けた。
- 賢治とモリスの共通点は、「自然への親しみ」と「共生意識」。

5 問合せ先

岩手大学人文社会科学部

准教授 久保田陽子(書道研究室) kubotay@iwate-u.ac.jp